

科目名 (英)	はりきゅう実技 I Practice of Acupuncture and Moxibustion I	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	90 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】							
はりきゅう実技 I では1年次の基礎はり・きゅう実技で修得した基礎技術や解剖学的知識を基に施術点を捉え、身体各部へ安全かつ衛生的な施術を身につける。							
実務実績	県立中央病院、東洋医学研究所、整形外科などでの勤務、診察から治療までの業務を行う						
資格	はり師・きゅう師						
実務実績	鍼灸指圧治療院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う						
資格	はり師・きゅう師、あん摩マッサージ指圧師						
【到達目標】							
＜具体的な目標＞							
解剖学的知識を基にリスクを考え、身体各部に施術することができる。							
①顔面頭部、上肢、下肢、体幹に安全かつ衛生的に施術できる。							
②パルスを用いて低周波通電治療を行うことができる。							
③身体各部位への徒手検査を行い、陽性所見と疑われる疾患を言うことができる。							

授業計画・内容	
1回目	下肢の解剖を理解し、膝関節の障害と徒手検査を説明できる。
2回目	下肢の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。膝関節の徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
3回目	下肢の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。膝関節の徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
4回目	下肢の解剖を理解し、股関節の障害と徒手検査を説明できる。
5回目	下肢の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。股関節の徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
6回目	下肢の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。股関節の徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
7回目	腰部の解剖を理解し、腰部の障害と徒手検査を説明できる。
8回目	腰部の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。腰部の徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
9回目	腰部の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。腰部の徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
10回目	上肢の解剖を理解し、上肢の障害と徒手検査を説明できる。
11回目	上肢の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。上肢の徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
12回目	上肢の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。上肢の徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
13回目	パルスの使い方を説明できる。神経の走行ラインを描くことができる。
14回目	パルスを用いて低周波鍼通電治療の施術を安全かつ衛生的に行うことができる。
15回目	パルスを用いて低周波鍼通電治療の施術を安全かつ衛生的に行うことができる。
準備学習 時間外学 習	(目標①)前提:この授業を受けるには、主に解剖学(筋、骨、関節、神経など)、臨床医学総論の知識(検査、運動器疾患の徒手検査、神経系疾患の診察など)が必要。 (目標②)学習は復習を中心に行うこと。授業当日と次回の授業の前日に振り返りを行い、理解できていないことを把握し早めに対処すること。 (目標③)授業中に説明した内容をメモしておき、相互の繋がりや大事なポイントを中心に押さえる。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書:ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK(滋慶出版/つちや書房)、鍼灸療法技術ガイド(文光堂)	
参考書:解剖学(医歯薬出版株式会社)	
臨床医学各論(医歯薬出版株式会社)	
臨床医学総論(医歯薬出版株式会社)	

科目名 (英)	はりきゅう実技 I Practice of Acupuncture and Moxibustion I	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	90 2	開講区分	前期
曜日・時限							

【授業の学習内容】

はりきゅう実技 I では1年次の基礎はり・きゅう実技で修得した基礎技術や解剖学的知識を基に施術点を捉え、身体各部へ安全かつ衛生的な施術を身につける。

実務実績 県立中央病院、東洋医学研究所、整形外科などでの勤務、診察から治療までの業務を行う

資格 はり師・きゅう師

実務実績 鍼灸指圧治療院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う

【到達目標】

<具体的な目標>

解剖学的知識を基にリスクをを考え、身体各部に施術することができる。

- ①顔面頭部、上肢、下肢、体幹に安全かつ衛生的に施術できる。
- ②パルスを用いて低周波通電治療を行うことができる。
- ③身体各部位への徒手検査を行い、陽性所見と疑われる疾患を言うことができる。

授業計画・内容

16回目	肩の解剖を理解し、肩の障害と徒手検査を説明できる。
17回目	肩の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。肩の徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
18回目	肩の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。肩の徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
19回目	背部の解剖を理解し、関連する障害と徒手検査を説明できる。
20回目	背部の解剖を理解して安全に施術を行う。関連する徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
21回目	背部の解剖を理解して安全に施術を行う。関連する徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
22回目	頸部・頭部の解剖を理解し、関連する障害と徒手検査を説明できる。
23回目	頸部・頭部の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。関連する徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
24回目	頸部・頭部の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。関連する徒手検査を実施し、陽性所見と考えられる疾患を説明できる。
25回目	学んだ技術が安全、確実な技術として修得できているかを確認する。
26回目	修得できていない技術は再度練習して確実に修得する。できている技術を練習して習熟度を高める。
27回目	修得できていない技術は再度練習して確実に修得する。できている技術を練習して習熟度を高める。
28回目	安全性を確認しながら、一連の流れで複数の箇所へ施術を行っていく。作業手順を考え、時間内で実施できるようになる。
29回目	安全性を確認しながら、一連の流れで複数の箇所へ施術を行っていく。作業手順を考え、時間内で実施できるようになる。
30回目	安全性を確認しながら、一連の流れで複数の箇所へ施術を行っていく。作業手順を考え、時間内で実施できるようになる。
準備学習 時間外学習	(目標①)前提:この授業を受けるには、主に解剖学(筋、骨、関節、神経など)、臨床医学総論の知識(検査、運動器疾患の徒手検査、神経系疾患の診察など)が必要。 (目標②)学習は復習を中心に行うこと。授業当日と次回の授業の前日に振り返りを行い、理解できていないことを把握し早めに対処すること。 (目標③)授業中に説明した内容をメモしておき、相互の繋がりや大事なポイントを中心に押さえる。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK(滋慶出版/つちや書房)、鍼灸療法技術ガイド(文光堂)

参考書: 解剖学(医歯薬出版株式会社)

臨床医学各論(医歯薬出版株式会社) 臨床医学総論(医歯薬出版株式会社)

科目名 (英)	はりきゅう実技 I Practice of Acupuncture and Moxibustion I	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	90 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】							
はりきゅう実技 I では1年次の基礎はり・きゅう実技で修得した基礎技術や解剖学的知識を基に施術点を捉え、身体各部へ安全かつ衛生的な施術を身につける。							
実務実績	県立中央病院、東洋医学研究所、整形外科などでの勤務、診察から治療までの業務を行う						
資格	はり師・きゅう師						
実務実績	鍼灸指圧治療院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う						
資格	はり師・きゅう師、あん摩マッサージ指圧師						
【到達目標】							
＜具体的な目標＞							
解剖学的知識を基にリスクを考え、身体各部に施術することができる。							
①顔面頭部、上肢、下肢、体幹に安全かつ衛生的に施術できる。							
②パルスを用いて低周波通電治療を行うことができる。							
③身体各部位への徒手検査を行い、陽性所見と疑われる疾患を言うことができる。							

授業計画・内容	
31回目	顔面の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。
32回目	顔面の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。
33回目	顔面の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。
34回目	胸部の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。
35回目	胸部の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。
36回目	胸部の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。
37回目	腹部の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。
38回目	腹部の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。
39回目	腹部の解剖を理解して安全かつ衛生的に施術を行う。
40回目	授業内内容の振り返りと実技の復習を行う。
41回目	授業内内容の振り返りと実技の復習を行う。
42回目	授業内内容の振り返りと実技の復習を行う。
43回目	前期の確認試験を行う。
44回目	前期の確認試験を行う。
45回目	前期の確認試験を行う。
準備学習 時間外学 習	(目標①)前提:この授業を受けるには、主に解剖学(筋、骨、関節、神経など)、臨床医学総論の知識(検査、運動器疾患の徒手検査、神経系疾患の診察など)が必要。 (目標②)学習は復習を中心に行うこと。授業当日と次回の授業の前日に振り返りを行い、理解できていないことを把握し早めに対処すること。 (目標③)授業中に説明した内容をメモしておき、相互の繋がりや大事なポイントを中心に押さえる。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書:ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK(滋慶出版/つちや書房)、鍼灸療法技術ガイド(文光堂)	
参考書:解剖学(医歯薬出版株式会社) 臨床医学各論(医歯薬出版株式会社) 臨床医学総論(医歯薬出版株式会社)	